

# 一般質問通告書

平成31年第1回議会定例会（平成31年3月）

---

## 質問者（6名）

---

- ① 今井吉男
- ② 西文男
- ③ 中野賢一
- ④ 外山利章
- ⑤ 名間武忠
- ⑥ 宗村勝



知名町議会

通告順	議席 9番	今 井 吉 男	平成31年 3月 日
1			時 分～ 時 分
<b>1. 歩道の設置と道路改良について</b>			
<p>① 児童生徒の通学時の安全対策として、田皆郵便局前から田皆中学校までの県道に歩道の設置と道路改良はできないか。</p> <p>② 集落公民館は、台風襲来や災害発生時の避難所となっていますが、県道から田皆コミュニティーセンターまでの道路は、幅員が短く、車両等の通行に支障を来している。道路改良はできないか。</p>			
<b>2. 観光案内板の設置について</b>			
<p>① 観光案内板の一部が破損しているが、補修または、新たに設置できないか。</p> <p>② 現在、設置されている奄美トレイルのルート案内板と連携した観光案内板はできないか。</p> <p>③ 2020年の奄美・沖縄4島の世界自然遺産登録を見据え、外国語による観光案内板の設置はできないか。</p>			
<b>3. 農業振興策について</b>			
<p>① 知名町農業生産振興計画書では、平成30年度の農畜産物生産額は、46億3,800万円になっているが、達成可能か、また、来年度計画では、平成28年度実績の50億円（隣町66億円）を目標にすべきでは。</p> <p>② 農家の所得向上には、新品目の開発と奨励が必要だと考えるが、計画はあるのか。</p>			

#### 4. 「知名放課後児童クラブ」利用時における送迎車の運行について

- ① 「知名放課後児童クラブ」が、昨年12月22日に旧知名幼稚園跡地に開設されたが、遠方からの利用者用に送迎車の運行はできないか。
- ② 同様の放課後児童クラブを小学校区毎に開設できないか。

(資料請求)

- ・開設時から2月末までの児童の出身校別利用者数。

メモ

通告順	議席5番	西 文 男	平成31年3月 日
2			時 分～ 時 分

## 1. ふるさと納税について

- ① 当初予算に対し、2月末現在のふるさと納税額及び達成率は何%か。  
また、ふるさと納税者数は何人位か。
- ② ふるさと納税者へのお礼状、返礼品等のアンケートは行っているか。
- ③ ふるさと納税の活用について、納税者からの希望はどうなっているか。
- ④ ふるさと納税についての、今後の展開について町はどのように考えているか。

## 2. 教育行政について

- ① 町内の各小学校で不登校の生徒数は何名ぐらいか。
- ② 不登校になった生徒への心のケア等の実施は行われているか。
- ③ 教育委員会、学校、保護者、児童生徒を含めた、不登校への原因についての話し合い等を行っているか。

× ㄗ

通告順	議席 8 番	中 野 賢 一	平成31年3月 日
3			時 分～ 時 分

## 1. 民間資金活用型の事業手法に伴う地元業者育成について

民間資金活用型の事業手法（PFI的事業）は、資金調達を民間主体で行うことを含め、性能発注による民間企業のノウハウを積極的に活用することを意図しており、設計・建設・維持管理・運営の各業務を総合的に評価することで、従来型の発注形態と比較した上で事業を推進する仕組みとなっており、「同じ価値の公共サービスをより少ない事業費で提供できる」というメリットがあるとして、採用する自治体もここ数年多くみられますが、地元業者を育成する上では疑問が残ります。その事を踏まえて伺います。

- ① 新庁舎建設についての議論が行われている中、建設地が決まっておらず、町民が一番心配しているのは、もし、庁舎建設地があしびの郷周辺に決まった場合に現在の商店街が衰退してしまうのではないかと心配もあり、この心配を払拭するには、現庁舎及び跡地の有効活用計画（総合計画）も含めた議論を同時に進める必要があると思われるが。
- ② 知名町がPFI（BTO）方式を選択した場合、本事業における応募グループの代表企業は町外の企業であると思われ、町はSPC（特別目的会社）と契約を締結することとなり、建設工事を含めたそれぞれの関連業務について、このSPCから発注されることになると思います。（PFI）事業手法の場合は、地元企業への工事発注や地元企業の活用・育成については、町としてどのように考えているか。
- ③ 知名町内の建設業者入札参加資格者（各業種別）は何業者あるのか。また、ランク（ランク基準も含め）はどのようになっているか。

## 2. 離島物価高・消費税・所得・その他について

所得について奄美は、県平均の85%と言われており、本土との物価差は、県平均に比べ、約2割増しとなっている大島地域に物価指数、消費税増税を控え、生活はいっそう厳しくなる。平成元年（1989年）に消費税がはじまり、税率は3%、平成5年に5%に増税、平成26年に8%に増税、今年平成31年10月に10%に増税が予定されているが、消費税が10%になると低所得者及び子育て世代への影響が大きいと思われるが、そのことを踏まえて伺います。

- ① 消費税10%は、本町では実質何%の値になるのか。その差は税額にしてどれくらい余分に納税することになるのか。
- ② 消費税が10%になると、消費税は低所得者及び子育て世代への影響がより大きいので生活が苦しくなり、子育てに影響が出てこないか心配ですが。
- ③ 政府の消費税増税対策として、プレミアム付き商品券が復活（対象は低所得者と0～2歳児のいる家庭への世帯主向けの政府案）消費税が10%になる場合は、中小小売店での購入時にクレジットカードなどキャッシュレス決済を使った消費者にポイント還元する。と政府は進めているが、低所得者の方は、ほとんどがクレジットカードやキャッシュレス決済を使っていないと思われるが。

メモ

通告順	議席2番	外山利章	平成31年3月 日
4			時分～ 時分

## 1. 本町の財政状況と町民への情報発信について

- ① 人口減少や自主財源の不確定性および今後予定されている大型事業など考慮すると、本町の財政状況はますます厳しさを増すことが予想される。今後の財政状況についてどのような認識か。またどのような財政運営を行っていくのか。
- ② 自治体の限られた財源を有効に活用するためには正確な財務状況の把握が不可欠であり、国においても自治体財政のマネジメント強化のため、新地方公会計の整備促進を進めている。新地方公会計にむけた本町の取り組み状況ならび予算編成等への活用は行われているか。
- ③ 町の財政状況を町民に解りやすく積極的に知らせることは、今後進むであろう共生、協働の町づくりにおいて特に重要だと考えるが、町民への情報提供ならびに情報発信は十分に行われているか。

## 2. 子育て支援策について

- ① 昨年12月に町内初の「放課後児童クラブしらゆり」が開設し、本町の子育て環境の充実が図られるものと考えているが、現在の利用状況および運営状況は。
- ② 子育て世代からは各小学校単位での放課後児童クラブ開設を望む声が多い。この要望にどのように対応するか。
- ③ 放課後児童クラブの運営にあたっては、放課後児童支援員や補助員などの人材の確保が必要となる。放課後児童クラブ開設を要望する声に対応するためにも放課後児童支援員の資格取得や放課後児童クラブの運営に対するサポートが必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。

× ㄗ

通告順	議席12番	名 間 武 忠	平成31年3月 日
5			時 分～ 時 分
<b>1. 平成31年度予算について</b>			
<p>① 予算編成（一般会計）の段階で歳入・歳出総額の差額はどのくらいだったのか。又、財源不足による未計上の施策・事業に関する補正対応の見通し等、今後の財政運営について</p> <p>② 予算執行について、10月1日から消費税率の引き上げが予想されることから、消費税対象科目の上半期における事業執行を求められるが。</p>			
<b>2. 奨学資金の拡大拡充について</b>			
<p>昭和56年4月に奨学生資金貸し付け基金の設置、以来、多くの奨学生に活用されているが、「教育・文化の町」を宣言する本町にとって、更なる利用促進・充実を図る為に貸し付け基準の緩和等が必要と考えられる。次の点についてお尋ねします。</p> <p>① 貸し付け等の運用状況及び基金限度額の引き上げについて。</p> <p>② 特別奨学資金生に農業関連者を加え、農家の後継者育成、若者の定住促進を図れないか。</p> <p>③ 償還開始時期は6ヶ月後となっているが、延長できないか。</p> <p>④ 初年度の経費負担が大きいことから、貸し付け対象に入学金及び授業料を新たに追加できないか。</p> <p>⑤ 給付型については慎重を要すると思うが。</p>			
<b>3. 沖永良部空港の整備について</b>			
<p>沖永良部空港（愛称：えらぶゆりの島空港）を平成31年度を初年度とする次期奄振事業でジェット化に向けた2,000m滑走路の整備、また、天候不良による欠航を少なくする為の着陸に重要な航空灯火施設の早期整備を図れないか。</p>			

メ モ

通告順	議席 6 番	宗 村 勝	平成31年3月 日
6			時 分～ 時 分
<b>1. 下平川小学校の太陽光発電システムの復旧について</b>			
<p>下平川小学校の太陽光発電システムは、故障により停止している状況が続いていますが、解決策を見いだして子供たちに自然エネルギーの素晴らしさを教えるべきではないか。</p>			
<b>2. 介護保険制度の将来について</b>			
<p>平成12年に介護保険制度が施行されて以来、知名町の第一期から第七期までの第一号被保険者の基準保険料が上昇の一途をたどっています。ましてや県内市町村の中で知名町は上位の保険料（ワースト5位）となっております。このままだと第一号保険者の負担増の見込みとなります。将来について問います。</p>			
<b>3. 知名町のホームページの更新について</b>			
<p>平成28年12月の議会定例会でも一般質問により質問しましたが、未だに情報発信が遅いように感じられます。現在のICT社会では、市町村のホームページは貴重な広報手段であります。内容を充実して知名町のPRに努めるべきではないか。</p>			
<b>4. 下田橋からホーシ橋沿いの遊歩道の整備について</b>			
<p>余多川下流の下田橋からホーシ橋までの川沿いに遊歩道がありますが、草木が生い茂り通行が不可能な状態であります。ホーシ橋には立派な展望台もあります。貴重な観光拠点施設であると思います。遊歩道を利用可能にして利用者に癒しの場にすることを望みます。</p>			

× ㄗ